

開発 デザイン 月

調 達 火

製 造 水

物 流 木

販売 サービス 金

MONODZUKURI

モノづくり

# ロスタイル減らし短納期



**負けたまるわ**  
調達されるための取り組み

タイムリーな部品調達で急な注文にもロスタイルなく対応

争力の重要な力が握る。工場の小型物流機器を得意とするNKEも納期短縮のニーズが増え、部材の量を視覚的に把握する「見える化」や、協力会社との緊密な連携を始めた。生産の「ロスタイル」を洗い出して時間を縮める改善は、顧客を逃さないための永遠の課題だ。

## 部材棚活用 在庫見える化

**NKE**

▷社長=中村道一氏▷所在地=京都府長岡京市馬場町27▷電話=075・955・0071▷資本金=2億9700万円▷売上高=17億3600万円(12年3月期)▷従業員=122人▷創業=1969年(昭44)

小型物流機器

NKEは空圧(エア)で部品類をつかむロングセラー。製品のエアチャックが有名だ。ほかにも多様な搬送、省配線、セル生産、自動通報の機器を手がけ、型番は500種類以上に上る。「競合ならば断る10個程度の少量機器の開発にも応じる」(中村社長)。小回りのよさや専門性が高い技術サポートを強みに、伸びてきた。半面、「需要の予測は極めて難しく、実態に合わせてモノづくりせざるを

「短納期の注文はどんどん増えている。明日が明後日にもほしい」という発注も日にぼしいといふ。NKEの中村道一社長は、「顧客の設備導入スタイルの変化をこのように説明する。顧客は全般に国内投資を抑えながら、短期間で新製品を国内外に投入し、シェアを取る戦略を強めている。「予算が付けば、すぐに設備をそろえて生産を始めたい顧客の欲求は今後も変わらない」と読む。

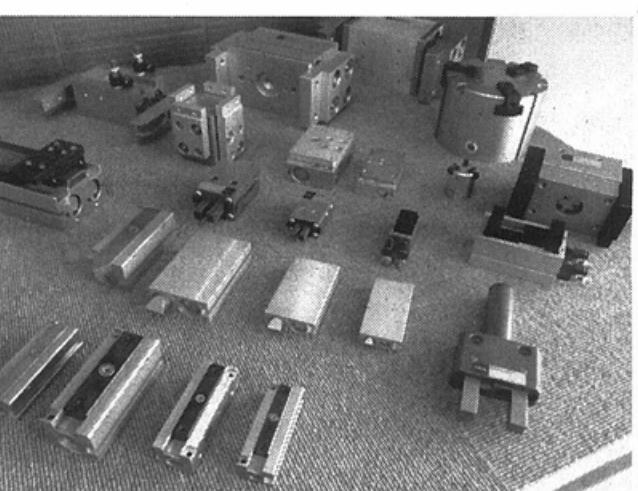
NKEは空圧(エア)で部品類をつかむロングセラー。製品のエアチャックが有名だ。ほかにも多様な搬送、省配線、セル生産、自動通報の機器を手がけ、型番は500種類以上に上る。

そこで、新たに「在庫量が一目瞭然で分かる」取り組みに着手しようとしている。部材の状況を協力会社に見せ、棚には一定の見込み生産に基づく原料の鋼材や機械加工した部品を並べることで、実際の消費量を視覚的に把握し、その増減に合わせて的確な部材の追加発注に結びつけようとしている。

そこで、「在庫量が一目瞭然で分かる」取り組みに着手しようとしている。部材の状況を協力会社に見せ、棚には一定の見込み生産に基づく原料の鋼材や機械加工した部品を並べることで、実際の消費量を視覚的に把握し、その増減に合わせて的確な部材の追加発注に結びつけようとしている。

そこで、「在庫量が一目瞭然で分かる」取り組みに着手しようとしている。部材の状況を協力会社に見せ、棚には一定の見込み生産に基づく原料の鋼材や機械加工した部品を並べることで、実際の消費量を視覚的に把握し、その増減に合わせて的確な部材の追加発注に結びつけようとしている。

## 協力会社と連携 共同開発も



ニーズに合わせ多品種展開するエアチャックなどの製品群

協力会社の1社とは、搬送機器のチャックやシリンドーなどのエアを再利用し、空気圧縮機(コンプレッサー)の消費電力を約3分の1低減する省エネシステムの共同開発にも、11年10月に着手した。「当社はシステムのコンセプトを手がけ、開発パートナーには高精度な加工やアイデアで協力してもらう。03年から取引し、信頼関係を深めてきた」と説明する。

大手のライバルとは購買力の差で調達にハンディを感じるが、持ち前の小回りや協力会社との太いきずなで、厳しい経営環境を乗り越えて行く。

(京都支局長・田井茂)